



人道的補助金プログラム

よく尋ねられる質問 一期日を過ぎて未提出の補助金報告書について

2006年7月

問 期日を過ぎて未提出となっている報告書について、ロータリー財団はなぜ新たな手続きを設定したのですか。

答 管理委員会は、期日通りに正確な補助金報告書を作成し、提出することが、補助金の資金管理の不可欠な要素であることを再確認しました。従って、管理委員会は、すべての地区とそのロータリー・クラブが、常に、100%期日を守り、報告義務を遵守するという目標を設定しました。報告義務それ自体に変更はありませんが、財団管理委員会は、クラブと地区が目標を達成するための一助となる新規の手続きを設定しました。

問 期日を過ぎて未提出となっている補助金報告書の新たな手続きとは、どのようなものですか。

答 ロータリー財団は、補助金の報告書を提出してもらうために、補助金提唱者に催促するシステムを確立しました。催促の通知が数回行われた後、21カ月以上にわたり補助金の使用に関する報告書を提出しなかったクラブや地区は、RIウェブサイトに掲載されることとなります(期日を過ぎても報告書を提出していないクラブはすべて、人道的補助金に参加する資格を喪失することになる点に、ご注意ください。ただし、RIウェブサイトに掲載されるのは、21カ月以上にわたって未提出のクラブのみとなります。クラブまたは地区が補助金資金の使用について報告してから30カ月以上が経過した場合、ロータリー財団は、RI理事会に対して、該当する提唱ロータリー・クラブを終結するよう勧告します。

さらに、ロータリー財団は、半期毎に地区とそのクラブの報告状況を検討します。半期毎の報告分析において2回続けて報告義務の準拠率が70%に満たない地区とそのクラブは、人道的補助金プログラムへの参加を一時停止されることとなります。

問 半年毎の報告状況の検討において、どのような情報が審査されることになるのですか。

答 半年毎の検討は、地区とクラブに授与された補助金すべて、すなわちマッチング・グラント、ボランティア奉仕活動補助金、地区補助金、3-H補助金について行われます。全補助金の報告書は、プロジェクト実施期間中は少なくとも12カ月ごと、そしてプロジェクト完了後2カ月以内に受理される必要があります。基準を満たした報告書が上記期限内に受理されなかった補助金はすべて、未提出とみなされることとなります。

問 基準を満たした補助金報告書の内容とはどのようなものですか。

答 補助金の報告書式は、RIウェブサイトからダウンロードして入手することができます。これらの書式は、すべての中間(進捗)報告書および最終報告書に使用すべきものです。基準を満たした報告書とは、プロジェクトの達成内容の説明、プロジェクトを通じてのロータリアンの活動のリスト、受益者に関する情報、収入と支出の内訳とそれを示す銀行明細などが含まれたものです。報告書が基準を満たしたものでない場合、補助金の報告書は未提出であるとみなされることとなります。

問 どのくらいの頻度で、報告書未提出のクラブがRIウェブサイトに掲載されるのですか。

答 未提出のクラブ名は、四半期ごとに、RIウェブサイト上で更新されます。

問 クラブ名が RI ウェブサイトに掲載された場合、どうしたら削除してもらえますか。

答 RI ウェブサイトの報告書未提出クラブのリストからクラブ名を削除するには、期日を過ぎて未提出となっている補助金すべてに対し、クラブは基準を満たした報告書(中間または最終)を提出しなければなりません。補助金の報告書式は、RI ウェブサイトからダウンロードして入手することができます。報告書がロータリー財団で受理され、審査された後、次の更新の際にリストからクラブ名が削除されることになります。

問 報告書を提出するよう協同提唱クラブに連絡を試みているのですが、返事がきません。どうしたらよいですか。

答 補助金報告書の提出は、実施国および援助国双方の提唱者の責務です。報告書を作成し、ロータリー財団に提出するために、協同提唱者同士が協力する必要があります。しかし、協同提唱者との連絡が取れないという場合もあります。このような場合、協同提唱クラブの会長にまたは協同提唱地区のガバナーに連絡することを考えてください。クラブ会長や地区ガバナーが、報告書記入に必要な情報を提供してくれるかもしれません。完了したプロジェクトの写真や受益者からの手紙などを添えて、プロジェクトが成功裏に終了したことを裏付けることもできます。プロジェクトの記録がまったく見つからなかったり、プロジェクトの責任者であるロータリアンと音信不通になってしまった場合には、これらの情報がなぜ報告書に添付されていないのかを説明した上で、できる範囲で報告書を記入してください。また、上記のような資料を入手するために協同提唱者との連絡を試みたことの証拠となる資料も添えると役立ちます。

問 協同提唱クラブが RI 加盟を終結され、プロジェクトに関する情報を入手することができなくなりました。この報告書の責任を持つのは誰になるのですか。

答 クラブが終結されても、プロジェクトに関与したロータリアン個人と連絡を取ることはできます。報告書の記入に必要な情報は、これらのロータリアンが提供すべきです。協同提唱クラブのロータリアンの誰にも連絡がつかない場合、地区ガバナーもしくは地区補助金小委員会委員長に連絡してください。クラブが終結された場合、ロータリー財団は、補助金の終了手続きを地区指導者に委ねることになります。これらの指導者がプロジェクトに関する情報をできる限り集め、可能であればプロジェクトが実際に存在したことを物的証拠をもって確認した上で、プロジェクトについて知り得たことをロータリー財団に報告すべきです。

問 地区が人道的補助金プログラムへの参加を一時的に保留とされている場合は、どうなりますか。

地区が一時保留措置の下にある間、ロータリー財団は、地区内のクラブまたは地区自体が代表提唱者となっているすべての地区補助金、ボランティア奉仕活動補助金、マッチング・グラント、3-H 補助金の手続きを中止します。申請書は受理されることも承認されることもなく、承認された補助金も支払われることはありません。

問 当地区は人道的補助金への参加が一時保留となりました。この措置を解除するために、地区は何をする必要がありますか。

答 地区の一時保留措置を解除するためには、ロータリー財団は、未提出となっている地区内クラブ提唱の補助金の基準を満たした報告書(中間または最終)を受理しなければなりません。これらの報告書がロータリー財団によって受理され、審査され次第、地区の一時保留措置が解除されることになります。

問 報告書が未提出となっている当クラブと地区の補助金に関する情報を入手するには、誰に連絡すればよいですか。

答 プロジェクト実施国に関して補助金を担当している人道的補助金コーディネーター (Humanitarian Grant coordinator) までご連絡ください。人道的補助金担当職員の最新版一覧は RI ウェブサイト (http://www.rotary.org/newsroom/downloadcenter/pdfs/hg_staff_sheet.pdf、英語)にてご覧いただけます。